

FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

例 会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
URL <http://www.fujieda-rotary.org/> E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：青島 彰 副会長：仲田 廣志 幹事：大塚 博巳 副幹事：池ノ谷 敏正

第1909回

- ソング 奉仕の理想
- ソングリーダー 小泉 克彦君



【2011-2012年度 RIテーマ】

こころの中を見つめよう
博愛を広げるために

カルヤン・パネルジー



【蓮】

写真提供：櫻井龍太郎

会長報告

青島 彰君

本日は石垣徳夫ガバナー補佐、杉山直事務局長が訪問されました。後ほどガバナー方針のお話を頂きます。

7月7日北村藤枝市長を会長、副会長、幹事、副幹事、創立40周年実行委員長の5名で表敬訪問しました。創立40周年を記念して藤枝市に対し寄付行為を行いたいとの申し入れをし、過去の周年事業では総合病院の患者用の書籍を寄付した経過を話しました。そのなかで市長より病院会計の赤字については徐々に回復しており、より医師の確保、診療科目の充実を図りたいと話されていました。懸案であった産科医不足も3名の医師確保ができたこと小児科医療もより充実していること、緊急小児科医療では県内でも3番目に位置する内容となっていることなど地域医療の核として着実に進化しているとの話でした。市長の手腕に期待したいところです。

公立病院は全国で970あり赤字率は全国で75%以上、累積欠損金は約2兆円を超えているそうです。統計的に見ると100床あたりの収益はマイナス1100万円となり藤枝市立総合病院は590床あり毎年6500万円程度の赤字は免れないことになります。

なぜ赤字経営となるのか元千葉県立がんセンター長、龍崇正氏は 国の低医療費政策 地方公営企業法の適用を受けるため、病院運営に必要な人材やシステム導入など状況に応じた弾力的な経営ができない。又、公務員ルールを適用した運営をするので効率的な運営ができない。その他色々な原

因があり複合的要素となっていると語っています。

病院の赤字問題はよりよい方向へ向かうべく利用する立場からの視点を持って考えてゆかなければならないと考えます。

幹事報告

大塚 博巳君

- MOA 美術館(7/16～9/19 三代目徳田八十吉展)案内が届いております。
- The rotarian が届いております。
- 藤枝明誠中学・高校、本校後援会より賛助金依頼の趣意書が届いております。(1口5,000円)

出席報告

小西 啓一君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
38 / 44 86.36%	38 / 44 86.36%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

- 石割君 ○杉山君 ○松葉隆君 鈴木舜君
- 玉木君 仲田晃君

ビジター

伊藤 一成君(島田) 高杉 光洋君(藤枝南)
漆畑 雄一郎君(藤枝南) 桑原 茂君(藤枝南)

スマイルBOX

小西 啓一君

- 石垣ガバナー補佐のご来訪を心より歓迎いたします。1年間宜しくご指導をお願いいたします。
青島 克郎君
- 妻の誕生日を祝っていただきありがとうございます。ロータリーでもらったので自分個人からはやらなくて良くて、ダブルでありがたいです。
大塚 高弘君

- 1年間出席・スマイル担当でお世話になりました。本年は会計でお世話になります。よろしく。

竹田 勲君

スマイル累計金額 42,000円

■ ガバナー補佐クラブ訪問

静岡第5分区
ガバナー補佐
石垣 徳夫君



『ガバナー補佐訪問挨拶及び

ガバナー方針伝達』

本年度、国際ロータリー第2620地区、静岡第5分区ガバナー補佐を務めさせて戴きます、静岡北ロータリークラブの石垣でございます。

本日は貴重なお時間をお借りして就任のご挨拶と、ガバナー方針の伝達ということで、杉山事務局長と一緒に伺わせて戴きました。

さて、いよいよ2011～2012年度がスタート致しました。カルヤン・パネルジーRI会長のテーマは「こころの中を見つめよう、博愛をひろげるために」です。自分自身の心の中をじっと見つめて、今自分がして欲しいと思うようなことを廻りの人になし、その愛を広げていこう。

国際ロータリー第2620地区 積 惟貞ガバナーのテーマは「今こそロータリーの真価が問われる時」です。我々は何をなすべきか、今は変化の狭間の大変な時期に当たります。変化のなんであるかを十分に理解して対処しましょう。となっております。

また、去る3月11に発生した東日本大震災については、国際ロータリー第2520地区(26RC)、第2530地区(3RC)、第2820地区(16RC)の合計45クラブが被災されております。ガバナー事務所内に東日本大震災支援委員会を設けて、ファイブ・フォー・ワンクラブ(被災地にある1つのロータリークラブと、被災地外にある5つのロータリークラブが一組になって、チームで活動するシステム)を早急に立ち上げよ

うとしております。これにつきましても皆様のご理解を戴きたいと思います。

RI会長並びに積ガバナーのテーマに沿って一年間進めて参りますので、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

本日は就任の挨拶ですので簡単に自己紹介させて戴きます。

1945年10月7日に静岡市に生まれ現在65歳です。職業は総合住宅設備機器の設計・施工・販売です。

ロータリー歴は、1980年11月12日、静岡西ロータリークラブへ入会致しました。静岡西クラブ創立5周年の周年事業の1ヶ月程前でした。当時は35歳と静岡市内で一番若かったと思います。約10年間静岡西RCに在籍し、静岡西RC創立15周年記念事業として、アデショナル設立に伴い1990年5月15日に現在の静岡北ロータリーのキーマンとして移籍致しました。

1996～1997年、青島ガバナー年度に会長を務めさせて戴きました。2009～2010年度、地区のローターアクト小委員会委員長も経験させて戴きました。

クラブ内の各役職を経験するのに約30年掛かりました。やっと全役職を達成したと思った矢先、ガバナー補佐のお役目が回って来ました。

ロータリーはなかなか楽をさせて貰えませんね！・・・が実感です。

報奨はマルチプルポールハリスフェロー、ベネファクター、米山功労者です。

入会から現在までの31年間、出席率100%だけが自慢です。

今後もこれだけは続けて行きたいと思います。

一年間お世話になりますがどうぞ宜しくお願い致します。

静岡第5分区
ガバナー補佐
事務局長

杉山 直君



■ クラブ協議会

- 会員増強委員会 委員長 松葉 義之君
新会員担当の石垣前会長と10人の委員で活動を進めます。

当クラブもピーク時68名の会員の時がありましたが、漸減し、2006年には41名、2008年7月には36名にまでに減少いたしました。その後、熱心な増強活動によって女性会員2名を含め新会員で40名にまで戻りました。昨年度は42名スタート、2名の新会員がありまして、本年度は44名のスタートとなりました。

本年4月の地区協議会でも日本のロータリークラブの会員数が最高時より-30.2%となっていると報告されました。

6月12日沼津市にての会員増強セミナー於いても積ガバナー、笠井地区委員長共『会員の維持、増強はロータリー活動にとって重要な意味を持ち、かつ喫緊の課題である。会長・委員長一体になり増強志向をはっきりし、クラブ一体になって増強を！』と熱く話されました。その中で強く感じた事は「入会させていただけ、と云う本来のロータリーでありたい」の言葉でした。

8月は『増強月間』です。現会員のみんなが真のロータリーの素晴らしさ 理念の高さ、厚い友情、大いなる楽しみ をつくり進めて、地域No.1ステータスの団体として“入りたいクラブ”にして行きたいと思います。

創立40周年の記念すべき年を迎える本年度は純増10%、5名の会員増を目標と致しました。非常に高い目標ですが力を合わせて実現するよう頑張ります。そのために

- 入会者の満足度向上のためにロータリーの内容解説と親睦活動の充実
- テーブルメイトによる増強対策ミーティングと炉辺会合を2～3回開催
- 未充填職種を調べて入会勧誘者を選出
- 会員に入会候補者の推薦をお願いする
- 入会候補者にゲストとして例会や各種行事に体験参加の試みなど頑張ります。会員全員のご協力をお願いいたします。

- クラブ管理運営委員会 委員長 池ノ谷 敏正君
委員長以下17名で委員会を運営してゆきます。「クラブの品位を保ちつつ、楽しく明るい雰囲気作りをリーダー、委員一丸となって取り組んでゆく」を基本方針として、1年取り組んでいきます。担当部門ごと会員の皆様のお力添えをお願いして、楽しいクラブ運営を目指していきたくと思っています。ご協力の程、宜しく申し上げます。

担当部門ごとの主な活動

- ・ 会場監督
例会の品位を保つ目的で、万一例会中の私語が目立つときは、注意していく。
- ・ 会場運営
タスキ着用で、会員間の挨拶の励行。
ビジターのスムーズな誘導。ソングリーダー
- ・ プログラム
楽しい例会プログラムを計画する。
外部卓話者の紹介を広く会員にお願いする。
- ・ クラブ会報
会員卓話当番の方への原稿協力依頼をする。
江崎君による「ロータリーの友」の概要説明
- ・ 出席スマイル
欠席届 FAX 制度の復活・徹底
お祝い以外のスマイル金額を1回千円以上として、スマイルの回数増加を計る。
- ・ 保健
会員とその家族の健康管理に寄与する。

- 奉仕プロジェクト委員会 委員長 森下 敏顯君
今年度奉仕プロジェクト委員会は4部門 1.社会・国際奉仕 2.職業奉仕 3.親睦 4.新世代・インタラクートを運営する事になりました。
1. 社会・国際奉仕は継続事業の産業大学冠講座の次年度予定者の決定
2. 職業奉仕は職場訪問例会の実施(訪問先企業の会場の関係、ご迷惑は要検討)
3. 親睦は年4回の夜間例会(納涼、クリスマス、創立、最終) 新年賀詞交換会の企画運営
会員祝い品の企画(会員誕生日、夫人誕生日、結婚記念日)

結婚記念日月の例会への伴侶招待

会員旅行の企画(白山RC創立50周年式典への参加 H24.3.3～ 時期的に要検討)

4. 新世代・インターアクトは青少年スポーツ大会への協賛及び大会開閉式への会員参加
インターアクト年次大会等への参加
以上、多方面ですが、会員の協力のもと、委員会全体で盛り上げていきたいと思います。

●ロータリー財団委員会 委員長 鈴木 廣利君
ガバナー月信の4月号にロータリー日本財団が公益社団法人の認定を受けたと云う記事が載っていたのを皆さんはご存知だったでしょうか。

それも申請してから3ヶ月という異例の早さでした。ロータリアンの皆さんからの寄付は4月1日以降につきましては税制上の優遇措置の対象になります。(2011年4月No10 p10 参考)

これは、これまで財団が行ってきた地域社会や国際社会での成果や実績が認められたと考えていいでしょう。

当委員会としてはこれらのことを会員に周知すると共に財団がロータリアンとその支持者によって支えられている事を理解していただく為にも卓話や勉強会等を計画したいと思っております。

◎ 冠 講 座

第11回(7月12日)

シエールガス革命

石間 尚雄君

